

稲作情報 No.7

〔6月19日水稻調査結果〕

水田農業レベルアップ委員会技術普及部会（農業試験場、生産振興課、JA経済連、主要農作物振興協会）
<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/inasaku/inasaku.html>

畦畔草刈り実践デー 1回目:6月21日(土)、22日(日) 2回目:7月5日(土)、6日(日)

明日、明後日は1回目の畦畔草刈り実践デーです。斑点米発生防止のため地域ぐるみでカメムシの生息場所となる水田周辺の除草を行いましょう。
ハナエチゼンでカメムシ類による斑点米が多いです。畦畔草刈りに加え大麦収穫後の雑草すき込みも行いましょう。

水稻

【農業試験場のコシヒカリの生育】(6月19日) 移植、直播とも中干しを実施中



圃場の外観

適期田植えコシヒカリ(5/20植え)



稲株の拡大(茎数平均26.7本/株)



圃場の外観

直播コシヒカリ(5/7播種)



稲株の拡大

(茎数436本/m²、5~6本/株)

- コシヒカリは移植では草丈は平年並み、茎数は平年より少ない傾向です。直播も草丈は平年並み、茎数は平年より少ない傾向です。
- ハナエチゼンの草丈は平年並み、茎数は前年より少なく経過しています。
- 茎数を確認して目標茎数に達した圃場は遅れずに溝切り・中干しを行い過剰生育を防ぎましょう。

【今後の栽培管理】

品種	今後の管理									
<p>適期田植え コシヒカリ</p>	<p>【中干し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ほとんどの圃場で中干し時期を迎えている。速やかに開始する。 目的は、無効分げつ抑制、根腐れ防止と根を下向きに伸ばす、田面を硬くして収穫直前まで入水を可能にする。 暗渠を利用して速やかな排水を心がける。 中干し期間は幼穂形成期直前まで。乳白や胴割粒の発生を防ぐため、間断通水を収穫直前まで行えるようにする。 <p>【ケイ酸資材施用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特に稲体が弱い圃場は、6月25日頃までにケイ酸質資材を施用する。ようりんならば40kg/10a。 稲体が軟弱だと葉いもちが発生しやすい。発病している場合は治療効果のある薬剤を散布する。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1239 237 1487 279">中干しの程度</th> <th data-bbox="1487 237 2001 279">水田の条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1239 279 1487 322">強い</td> <td data-bbox="1487 279 2001 322">地力のある湿田、生育が旺盛な圃場</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1239 322 1487 365">弱い</td> <td data-bbox="1487 322 2001 365">乾田</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1239 365 1487 408">間断通水程度</td> <td data-bbox="1487 365 2001 408">地力のない砂質浅耕田</td> </tr> </tbody> </table>	中干しの程度	水田の条件	強い	地力のある湿田、生育が旺盛な圃場	弱い	乾田	間断通水程度	地力のない砂質浅耕田
中干しの程度	水田の条件									
強い	地力のある湿田、生育が旺盛な圃場									
弱い	乾田									
間断通水程度	地力のない砂質浅耕田									
<p>湛水直播(カルパー) コシヒカリ</p>	<p>【中干し】</p> <ul style="list-style-type: none"> 直播栽培は移植に比べ、葉齢が小さく草丈も小さいうちに分げつが増加する。 ほとんどの圃場で目標茎数(350本/m²程度)を超えている。速やかに中干しを開始する。中干しの程度については、上記の適期田植えコシヒカリと同様。 <p>【中期深水管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> 水深10cmの状態です9葉期(7月上旬)まで水位を保つ。 (詳細はhttp://info.pref.fukui.jp/nougyou/noushi/data/fukyuu/h23/01.pdfを参照。) <p>【葉いもち予防】</p> <ul style="list-style-type: none"> 直播は移植に比べて稲体が軟弱で予防剤を散布していないので、本田での発病に一層注意する。 									
<p>移植 ハナエチゼン イクヒカリ あきさかり</p>	<p>【中干し】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中干しを幼穂形成期直前まで実施する。ただし降雨がない日も続くので田面の状態を確認して1cm以上のヒビが入らないようにする。 幼穂形成期以降は間断通水を行う。 <p>【幼穂形成期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農試のハナエチゼン(5月2日植え)の幼穂形成期は平年で6月28日。 分施肥系では、幼穂(長さ1~2mm)を確認して穂肥を施肥する。穂肥施用の準備をしておく。 									

【病害虫等の発生状況と対策】

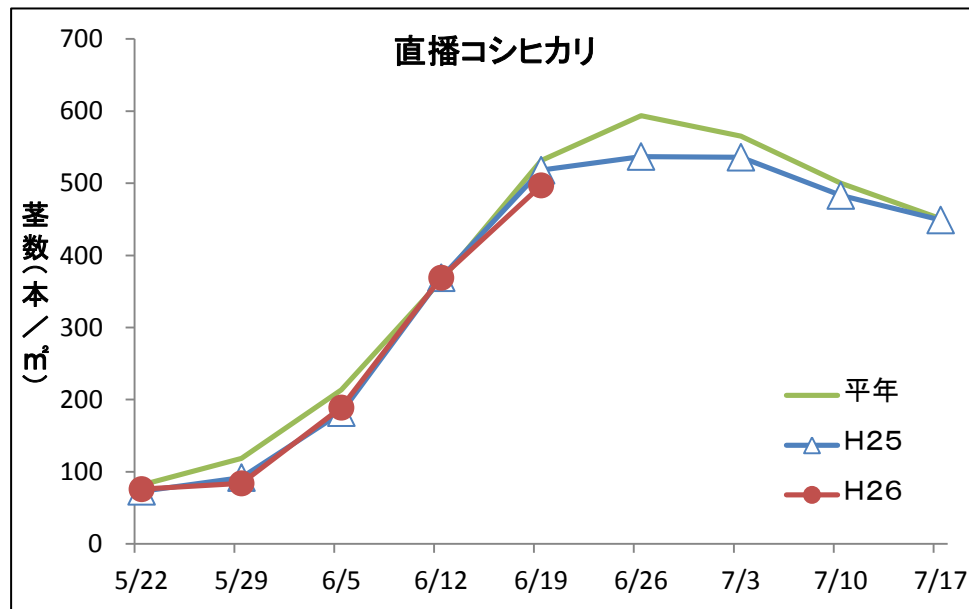
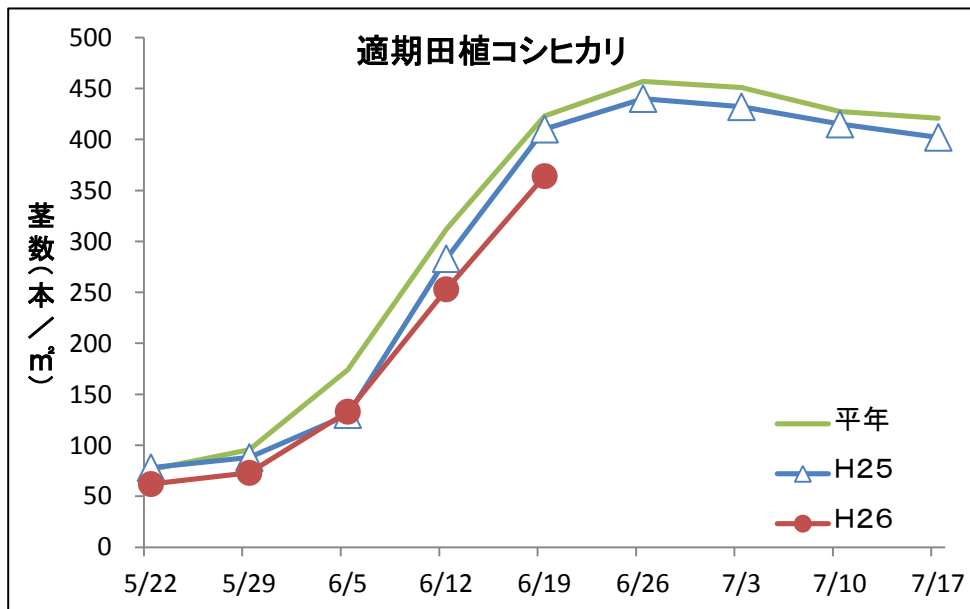
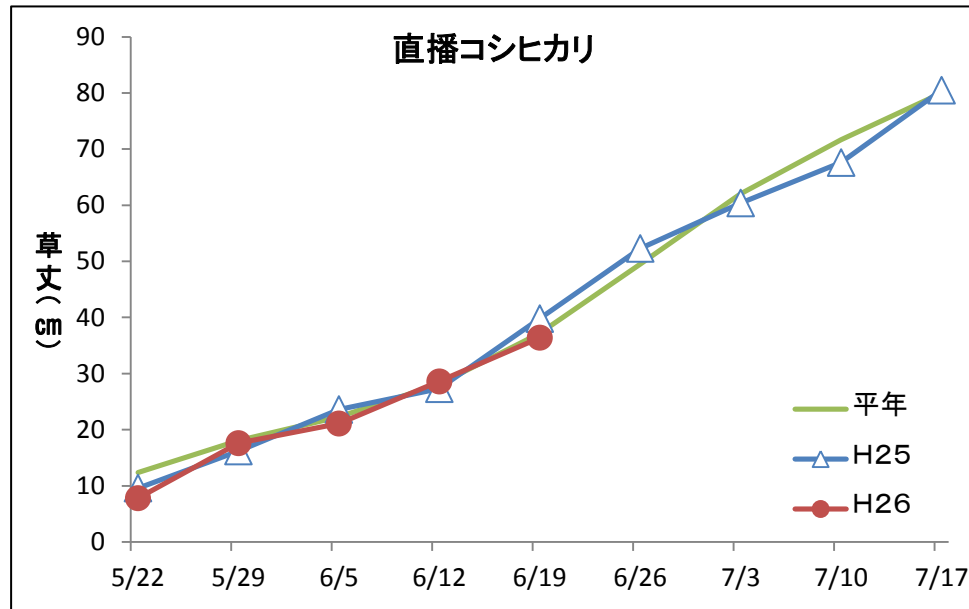
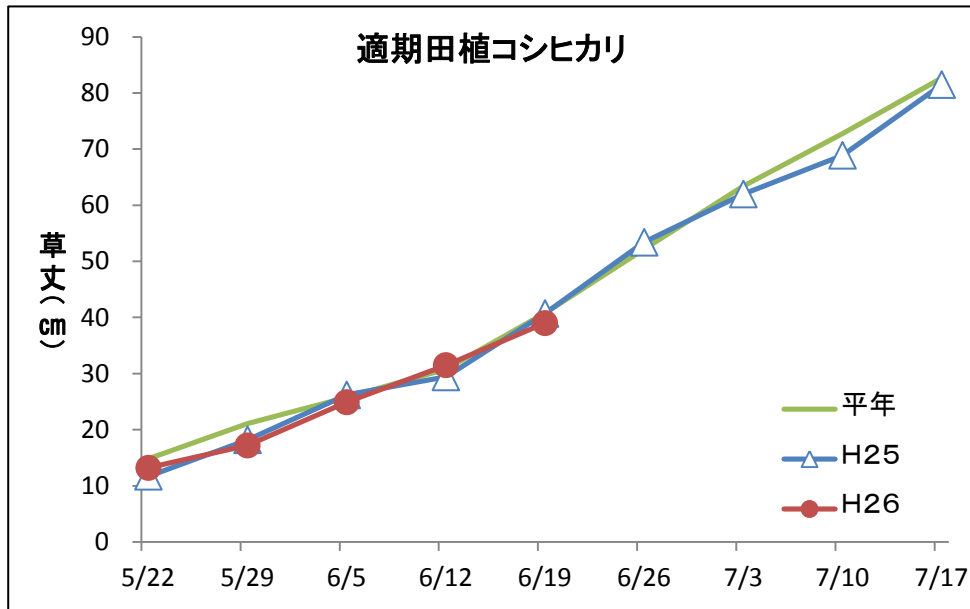
病害虫	発生状況と対策																																																																																																																																																																					
<p>葉いもち</p>	<p>【発生状況】 BLASTAM（ブラスタム）によるいもち病の感染好適条件出現状況 （●感染好適条件日 ○準好適条件日）</p> <ul style="list-style-type: none"> まとまった降雨のあった6月12日にほぼ全域で感染好適条件が出現している。その7～10日後に葉いもちの広域初発が予想され、粉剤や液剤での防除時期は広域初発の7日後である。 <p>【対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 予防粒剤の苗箱施薬や本田散布を行っていないもの、常発地、遅植えや直播栽培、生育が旺盛で葉色が濃く葉が垂れているもの、などで特に注意して観察する。 圃場を見回って、発病を見つけたら治療効果のある薬剤を散布し蔓延を防ぐ。 補植用の置き苗はすぐに撤去する。本年は昨年より放置されている事例が多い。 ケイ酸質資材は稲体を硬くしていもち病菌の侵入を抑制する効果があるといわれている。最高分げつ期頃に施用する。 <table border="1" data-bbox="1442 219 2001 539"> <thead> <tr> <th></th> <th>6/05</th> <th>6/06</th> <th>6/07</th> <th>6/08</th> <th>6/09</th> <th>6/10</th> <th>6/11</th> <th>6/12</th> <th>6/13</th> <th>6/14</th> <th>6/15</th> <th>6/16</th> <th>6/17</th> <th>6/18</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三国</td> <td>-</td> <td>●</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>●</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>春江</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>●</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>越前</td> <td>●</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>●</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>福井</td> <td>●</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>●</td> <td>-</td> <td>●</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>勝山</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>●</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>大野</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>●</td> <td>-</td> <td>●</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>今庄</td> <td>4</td> <td>●</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>●</td> <td>-</td> <td>●</td> <td>-</td> <td>●</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>敦賀</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>美浜</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>●</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>小浜</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>●</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>		6/05	6/06	6/07	6/08	6/09	6/10	6/11	6/12	6/13	6/14	6/15	6/16	6/17	6/18	三国	-	●	-	-	-	-	-	●	-	○	-	-	-	-	春江	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	越前	●	-	-	-	-	-	-	●	-	○	-	-	-	-	福井	●	-	-	-	-	-	-	●	-	●	-	-	-	-	勝山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	大野	-	-	-	-	-	-	-	●	-	●	-	-	-	-	今庄	4	●	-	-	-	●	-	●	-	●	-	-	-	-	敦賀	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	美浜	-	-	-	-	-	-	-	●	-	○	-	-	-	-	小浜	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-
	6/05	6/06	6/07	6/08	6/09	6/10	6/11	6/12	6/13	6/14	6/15	6/16	6/17	6/18																																																																																																																																																								
三国	-	●	-	-	-	-	-	●	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																								
春江	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-																																																																																																																																																								
越前	●	-	-	-	-	-	-	●	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																								
福井	●	-	-	-	-	-	-	●	-	●	-	-	-	-																																																																																																																																																								
勝山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-																																																																																																																																																								
大野	-	-	-	-	-	-	-	●	-	●	-	-	-	-																																																																																																																																																								
今庄	4	●	-	-	-	●	-	●	-	●	-	-	-	-																																																																																																																																																								
敦賀	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																								
美浜	-	-	-	-	-	-	-	●	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																								
小浜	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																								
<p>紋枯病</p>	<p>【発生状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 初発は平年並の6月6半旬、被害程度は少発（局中発）。発生量は、平年より少なく前年並。 <p>【対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 紋枯病が発生した圃場では、菌核が残っており次作の伝染源となる。前年に発生があった圃場では、必ず防除を行う。 穂ばらみ期以降の粉剤、液剤散布でも十分防除できない地域では、早めに粒剤を散布する。 																																																																																																																																																																					
<p>斑点米カメムシ類</p>	<p>【発生状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 5月中旬からアカスジカスミカメやアカヒゲホソミドリカスミカメ等の越冬世代成虫が畦畔雑草で発生している。発生量は平年並。 休耕田や高速道路の法面など、多年生のイネ科雑草が繁茂しているところでは、ホソハリカメムシの越冬成虫が発生している。 <p>【対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月下旬から7月上旬にかけて、カメムシ類の生息場所となる水田周辺雑草の除草を行う。 例年、早生でカメムシ類による斑点米が多い。 畦畔草刈りや大麦収穫後の雑草すき込みなど、薬剤散布に加えて地域ぐるみで総合的な防除を行う。 <p>畦畔草刈り実践デー：1回目 6月21日（土）、22日（日） 2回目：7月5日（土）、6日（日）</p>																																																																																																																																																																					
<p>除草</p>	<ul style="list-style-type: none"> 雑草の取りこぼしがある場合は、発生している草種にあわせ、中期除草剤や後期除草剤を使用する。 ヒエ クリンチャー1キロ粒剤（湛水散布）、ワンステージ1キロ粒剤（湛水散布）など 広葉雑草 バサグラン液剤（落水散布） ヒエ+広葉雑草 ヒエクリーンバサグラン粒剤（ごく浅く湛水して散布）、ワイドアタックSG（落水散布）など クサネム ノミニー液剤（落水散布） 除草剤の使用にあたっては、使用基準（使用時期、使用量、成分ごとの使用回数、散布方法、水管理方法等）を必ず守る。 																																																																																																																																																																					

【生育調査結果】

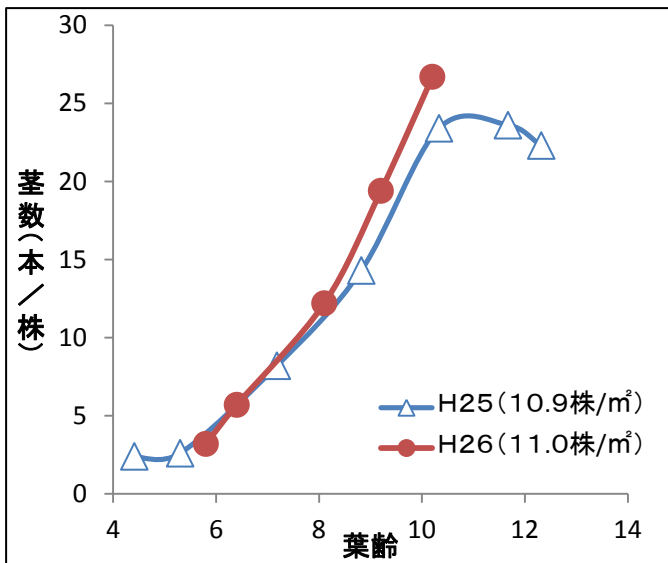
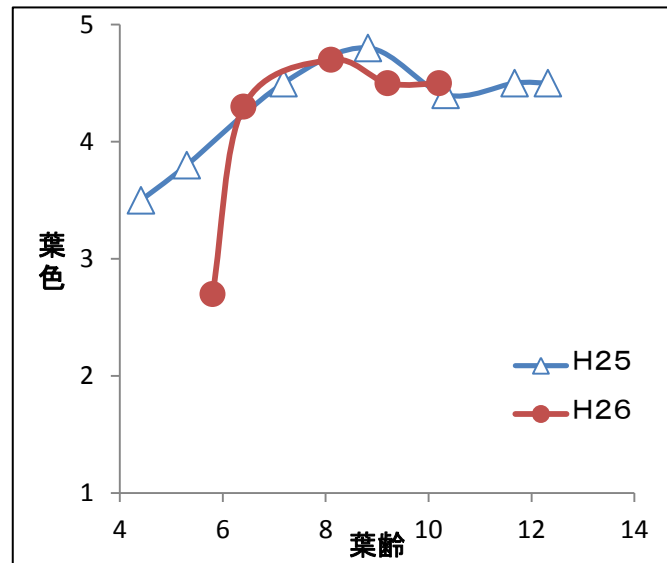
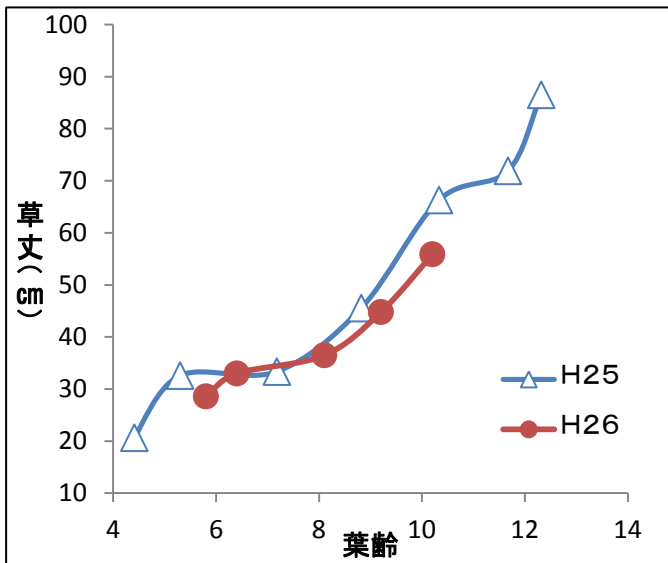
調査日：平成26年6月19日

		ハナエチゼン			コシヒカリ								あきさかり		
		農試	坂井農場	現地	農試		坂井農場		現地・慣行		現地・特別栽培		農試	坂井農場	現地
		移植 5/2	移植 5/1	移植 5/1	移植 5/20	直播 5/7	移植 5/15	直播 5/8	移植 5/16	直播 5/2	移植 5/20	直播 5/5	移植 5/2	移植 5/15	移植 5/11
草丈 (cm)	本年	54.1	50.8	43.9	36.0	38.9	42.6	31.4	39.2	36.4	37.6	34.9	50.2	38.0	35.1
	平年	48.5	49.4	44.1	40.0	36.7	42.2	34.3	40.8	30.6	39.3	40.6	45.5	42.0	43.3
茎数 (本/株) (本/m ²)	本年	33.9 705	27.9 508	23.5 419	26.7 555	620	22.6 411	323	21.1 375	529	16.6 277	337	37.5 780	23.5 428	25.3 381
	平年	30.7 639	28.9 546	27.5 515	23.5 489	576	24.8 463	481	23.5 427	559	19.9 375	557	33.8 703	26.3 500	29.4 505
葉齢 (枚)	本年	10.1	9.8	9.5	8.4	8.4	8.2	7.0	8.1	7.9	7.8	7.1	10.1	8.2	8.2
	平年	10.1	9.9	9.7	8.9	7.8	8.8	7.4	8.3	7.9	8.6	8.0	10.1	8.8	9.8
葉色 (葉色 板)	本年	4.5	4.4	4.8	4.6	4.0	4.5	4.6	4.4	4.5	4.6	3.5	4.8	4.8	5.0
	平年	4.5	4.7	4.6	4.5	4.3	4.6	4.4	4.4	4.4	4.8	4.3	4.9	5.0	4.8
幼穂 形成期	本年														
	平年	6/28	6/28	6/28	7/13	7/16	7/10	7/16	7/12	7/15	7/12	7/15	7/10	7/14	7/10
出穂期	本年														
	平年	7/20	7/17	7/18	8/3	8/8	8/2	8/8	8/1	8/4	8/1	8/4	8/3	8/8	8/1

【コシヒカリ生育経過】



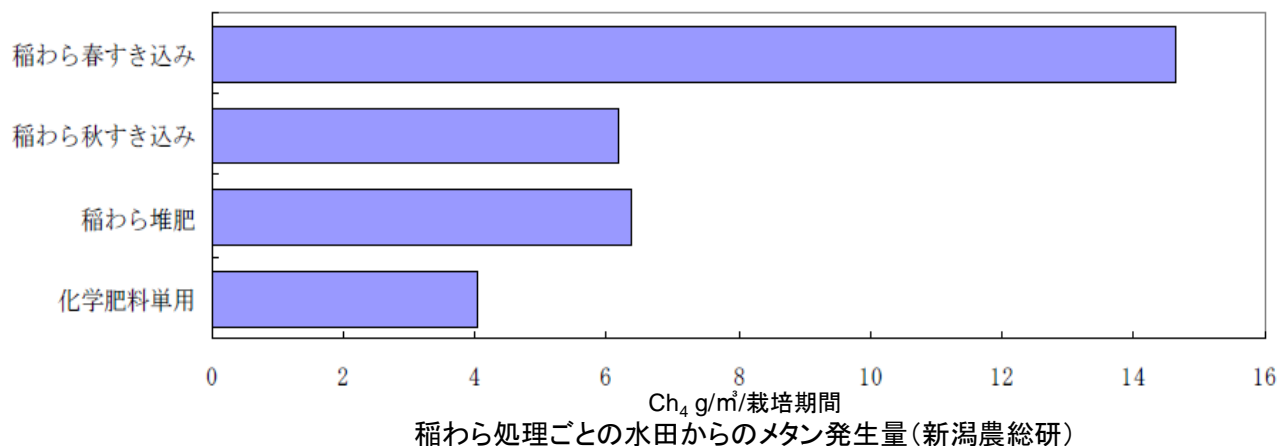
【有機肥料コンヒカリ生育経過】 福井市の栽培事例



調査点: 福井市深見町
 苗: みのる式、育苗日数30日
 施肥: 米ぬかと油粕を主体としたボカシ肥料、発酵鶏ふん、シリカ21など
 この水田では除草剤を1回使用

初期生育が悪かった圃場ではガスが発生していませんか

- 苗質はよかった、施肥量は計算どおり、なのに初期生育が悪かった。そのような圃場の中を歩いた時ガスがブクブクと出てきませんか。
- わらを晩秋から春先にかけてすき込むと、田植えまでに稲わらが十分腐熟しません。
- その場合、生育初期に急激にわらの腐熟が進みます。それに伴い、わらの分解作用と水稻の吸収との間で施肥窒素の奪い合いがおり、まだ根が十分伸びていない苗は窒素を十分吸収できません。
- さらに有機酸の生成も影響して苗が生育抑制を受けます。根腐れの要因となる硫化水素やメタンガスも発生します。
- 稲が遅できになる上に下位節間が伸びる6～7月に窒素が放出されて倒伏しやすくなってしまいます。
- 稲わらは収穫後早めにすき込んでわらの腐熟を促進しましょう。



稲わらを秋にすき込むことにより、分けつ期の土壌の異常還元が抑えられ、地球温暖化ガスであるメタンガスの発生や根腐れの原因である硫化水素などの発生を抑制する。

秋の田起こしでおいしい米づくりを！

秋の田起こし運動を本年から始めます。早めに稲わらをすき込んでわらの腐熟を促進しましょう。

ふくいアグリネット「稲作情報システム」のご案内

ふくいアグリネット <http://www.agri-net.pref.fukui.lg.jp/>
 稲作情報システム http://www.agri-et.pref.fukui.lg.jp/gizyutsu/ine_sys/index.html

①ふくいアグリネット・トップ → 農業技術情報 → 稲作情報システム

②年度、情報(生育状況、収量・品質)、地域、地点を選択

NO	地名名	品種	栽培方法	地域区分
4	高山一級産	ハナエチゼン	移植	高丹中
7	あわのこ伊豆	ハナエチゼン	移植	低丹平
45	富士農情一ノ木	ハナエチゼン	移植	低丹平
54	福井農情二ノ木(産別)	コヒカリ	移植	低丹平
56	福井一級産	ハナエチゼン	移植	高丹平
110	福井二ノ木(産別)	コヒカリ	直播	低丹平
112	あわのこ一級産(産別)	コヒカリ	直播	低丹平
58	福井農情一産区	あきさかり	移植	低丹平
113	福井農情一産区	コヒカリ	直播	低丹平
70	福井二ノ木(産別)	コヒカリ	移植	高丹平
71	福井二ノ木(産別)	コヒカリ	移植	高丹平
72	福井二ノ木(産別)	コヒカリ	移植	高丹平
73	福井二ノ木(産別)	コヒカリ	移植	高丹平
74	福井二ノ木(産別)	コヒカリ	移植	低丹平
75	福井二ノ木(産別)	コヒカリ	移植	低丹平
76	福井二ノ木(産別)	コヒカリ	移植	低丹平
85	福井二ノ木	あきさかり	移植	高丹平
116	福井一級産	ハナエチゼン	移植	低丹平

③生育状況、収量、品質のグラフを表示

福井県農業情報ポータルサイト「ふくいアグリネット」において、県内各地(約40地点)の水稻の生育状況や収量・品質の調査データを「稲作情報システム」で掲載しています。現在の生育状況はもちろん、過去のデータ(生育、収量・品質)を調べることができます。ぜひご利用ください。

【天気予報】

6月20日6時発表

日付	20 金	21 土	22 日	23 月	24 火	25 水	26 木
福井県	晴時々曇 ☀️☁️	曇 ☁️	曇時々雨 ☁️🌧️	曇 ☁️	曇時々晴 ☁️☀️	曇時々晴 ☁️☀️	曇時々晴 ☁️☀️
降水確率(%)	~/10/20/20	10/10/20/10	60	40	30	30	30
信頼度	/	/	B	C	B	A	A
最高(°C)	29	29	(24~29)	(24~29)	(26~31)	(29~33)	(29~34)
最低(°C)	/	19	(19~22)	(18~21)	(18~21)	(18~21)	(19~22)

気象庁 気象統計情報(各種観測データ)
<http://www.jma.go.jp/jma/menu/report.html>

【メールマガジン e農メール】

e農メールの登録については、こちらをご覧ください。
http://www.agri-net.pref.fukui.lg.jp/a_mail.html



携帯電話ではQRコードで簡単アクセス